

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	既存補強コンクリートブロック造耐震性能評価指針検討小委員会	主 査 名：菊池健児 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：勅使川原正臣
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>〔目的〕 本小委員会は、全国各地に広く建設され、耐震性を評価・判定する方法の確立が望まれている既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文、解説および評価例を検討し、編集・刊行することを目的とする。さらに、新築建物を対象としている『補強コンクリートブロック造設計規準・同解説』や『補強組積造建築物の構造性能評価指針（案）・同解説』も含め、関連規準類の今後の改定に向けての基礎資料を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説（案）を検討する。また、耐震性能評価例の案を作成する。さらに、耐震性能評価法について地震被害との関係の検証等の検討を行う。</li> <li>・ 2 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説を編集し、評価例を検討する。</li> <li>・ 3 年度：既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針・同解説の最終原稿を編集し、刊行する。また、今後検討して規準類に反映すべき項目の整理・検討を行う。</li> <li>・ 4 年度：3 年度までの内容および新たに得た知見を基に検討して、規準類に反映すべき項目のまとめを行う。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：菊池健児 (大分大学) 幹事：五十嵐泉 (COMA建築構造研究室), 黒木正幸 (崇城大学), 西田哲也 (秋田県立大学) 委員：青木功 (エスビック), 今井弘 (防災科学技術研究所), 植松武是 (北海道立総合研究機構林産試験場), 川上勝弥 (小山工業高等専門学校), 小室達也 (ベターリビング), 西野広滋 (トーヨー), 花里利一 (三重大学), 細川洋治 (細川建築構造研究室), 山口謙太郎(九州大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s5/index.htm">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s5/index.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会 催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存補強コンクリートブロック造建物の耐震性能評価指針の本文・解説の検討を進めた。また、耐震性能評価例の案を作成し、内容の審議を行った。</li> <li>2. 2016 年 4 月に発生した熊本地震における補強ブロック造の被害調査ならびに群馬県における既存建物調査を本小委員会で行い、既存補強ブロック造建物の地震被害および耐震性能に関する資料を収集した。</li> </ol>
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 熊本地震対応もあり、関連委員会との同日開催による委員会旅費節減対策に限界が生じ、委員会開催が困難な場合があった。テレビ会議等も検討したい。